



■ 76. 高温変形の組織ダイナミクス研究会
設置期間 1期5年間 (2015年3月~2020年2月)

高温での合金の変形特性は、変形速度依存性を持ち、複雑な挙動を示す。この複雑な挙動を整理するために、いわゆる定常状態に注目して特性を整理し理解する試みが続けられ、多くの知見が得られてきた。一方で従前より、定常状態が現れない場合があることもよく知られており、高温では材料の組織と力学応答が時々刻々変化し、それらがダイナミックに相互作用を起していることも明らかである。高温における変形と破壊の様相を理解し社会に還元するためには、動的に変化する組織と力学的挙動の関係を系統的に明らかにする必要がある。近年の力学挙動の評価技術や材料学的組織解析技術は飛躍的な発展を遂げており、本研究会では、各研究グループが得意とする実験手法によって得られるさまざまな情報を共有し、高温における力学的挙動と組織変化の相互作用をより深く理解するための情報交換と討論の場を提供することを目的として活動する。

代表世話人 佐藤 裕之

弘前大学 大学院理工学研究科教授

TEL: 0172-39-3673 FAX:020-4666-8008

E-mail: g4sato@cc.hirosaki-u.ac.jp